

緑友会コミュニケーション誌
1993年7月発行 No.

82



第36回 全国印刷緑友会 大分総会

FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

 全国印刷緑友会

全国印刷緑友会

第20代 利根川会長就任

緑友会の心

謙虚にして高邁な精神のもとに己れを磨き生かすということです。

緑友会は

ふれ合い、感性・情感満ちた場から、自ら求めて、会得し、企業、社会のエネルギーを培うことの共感仲間集団であり、自己実現の喜びにむかって自己革新、研鑽を積む場です。



緑友会会長 利根川 政明

平成5年度目標

グループの活性化

緑友会会員の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。去る、5月15日に開催されました第36回全国印刷緑友会大分総会において諸先輩多くいらっしゃる中で第20代会長に就任させて頂きました。

第14代中村会長期に初めて常任幹事の末席を汚して以来、竹田会長、古賀会長、竹内会長、城戸会長そして前任の白井会長と6期12年常任幹事努めさせて頂き、本来ならば次世代の緑友の幹事へバトンタッチすべきところ現執行部の皆様、そしてグループ長の皆様のご推挙を頂き、浅学非才を省みず重責にお応えすることの使命と責任を自らに課し先人の心魂そそいだ緑友の心を大切にして、緑友会が活力と希望に満々た躍動化のために全力投球する覚悟です。

何卒ご支援ご協力をお願い申し上げます。

成熟蝕和消費社会と不透明経済は、活力を失わせつつあります。この不況下にある企業を支える力、とりわけ私達印刷業界に必要な力は、経営者は勿論、全社にみなぎっている感性の有無といえましょう。知性、教養、理性があっても感性を持ち得ないものは創造というほとぼしりが生まれられないために自己実現の喜びに浸れず、業績は愚か自信さえなくしてしまいます。

緑友会の歩みと心、そして高邁な理想は、今、将に私達が直面している課題の指針であると信じます。会員の皆様からの厳しいご指導とご叱声をお願い申し上げ、就任のご挨拶にかえさせて頂きます。

第36回

全国印刷緑友会 大分総会開催される

とき 5月15日(土)
ところ 大分東洋ホテル

スカット晴れ渡った五月晴れのもと、九州は大分において第36回の全国緑友会大分総会が開催された。気温は20度と大変清々しく、心が洗われる思いの2日間であった。今総会の主管は、大分印刷若梅会。数少ないメンバーの中で、皆が団結しスムーズに会の運営にあっていた。さすが緑友の仲間である。総会ということで参加者は限られていたが、それぞれの親交を温めるにはちょうどよい人数であった。

さて、今総会は役員改選の期にあたり、開始前からなにがしか緊張感が漂っていた。白井会長（前会長というべきか）も緊張気味に緑友のメンバーと挨拶をかわしておられる。しかし開始前の緊張をよそに、総会は大変和やかにまた全員の総意のもとに進められた。

会の中盤、盛り上がりのある中で、今総会のメインイベントでもある役員改選と新会長の承認があった。利根川新会長のもと、新たに常任幹事、グループ長、委員会など選出、設置され、大きな拍手の中で船出した。ふれ合いの中で自



己革新、研鑽を積む場が緑友会であると確認し、「グループの活性化」を今年度の目標に決定された。

総会の後、早速この目標についてトーキングタイムが設けられていた。約1時間ほどであったが、9グループに分かれてかなり積極的に、突っ込んだ話し合いがなされた。話し合いのポイントは2つ。「グループの活性化」と「緑友全グループの共同活動（事業）」である。全国44グループそれぞれ事情が違うものの、お互い連携機関として意識を高めあい、活性化に努力する旨確認された。

夜の懇親会では、例によって大変和やかな雰囲気の中、印刷業の将来を熱く語り合う若き経営者が、あちこちで輪を作っていた。一方ほっと息をつく白井前会長と、笑みを絶やさない利根川新会長も、メンバーに囲まれながら和気あいあいとくつろがれていた。二次会も、若梅会の皆さんがいろいろ設営され、緑友の仲間は大分の人情を満喫した様子である。

このようにして、大分総会は閉会されたが、今後の利根川新会長のご活躍を大いに期待しつつ、大分総会の報告を終わりにしたい。

大阪青年印刷人クラブ 宮城荘一郎 記



全国印刷緑友会
第19代会長

白井 秀幸

第36回全国印刷緑友会が大分で開催されましたことを心から喜ぶものです。

これも各グループの役員及び指導的立場におられる会員諸兄、また地元印刷業界の先輩各位、そして毎回ご協力をいただいている業界報道関係各社の方々にご参集いただいた賜ものと心より感謝申し上げます。

さて、私は本総会をもちまして2年間の会長職を終えようとしています。札幌総会から始まり、沖縄大会、岐阜セミナー、広島総会、茨城大会、横浜セミナー、そして本日の大分総会と、城戸直前会長の指導の基、常任の方々の方力を頂き、無事に本日を迎えることができ、心より感謝申し上げます。

また私の任期中に、緑友会名簿の作成をと、

原稿集めに苦慮したため完成が遅れましたが、本日お手元にお渡しすることが出来ました。この名簿は私が掲げておりました、ネットワーク作りに、ぜひ役立ていただければと願っています。又、この製作を担当された西川、岡田両常任幹事に深く感謝申し上げます。

不況が長引いておりますが、会長をお引受けして一年目には良くなると思っておりましたが、ずるずるとまいりました。その中で、「イノベーション」「ネットワーク」「マーケット」作りをテーマに皆様と一緒に活動してまいりましたが、それ以上に、いかに生き延びるかという状況下だと思います。そういう意味では、各グループがいかに活性化していくか、このすばらしい横の連系を継続していくことが大切、微力ながら私もがんばって行きたいと思っています。

今総会は役員改選の期で、新しい役員あるいは新しいグループ長による、新たなチャレンジが始まろうとしています。正に新たな時代を掴む、今総会になるものと期待いたします。

最後になりましたが、今総会の主管をしていただきました大分若梅会のメンバーに心より感謝申し上げます。

平成4年度 緑友会事業報告

事業内容	日時	場所	参加数	主管
第35回広島総会	平成4年5月9日(日)	広島市 「広島ターミナルホテル」	33グループ 181名	広島青年印刷研究会
第35回茨城大会	平成4年9月26日(日)	水戸市 「水戸京成ホテル」	36グループ 263名	茨城印刷緑友会
第26回東京セミナー	平成5年2月13日(日)	横浜市 「ホリディン横浜」	35グループ 316名	在京9グループ

平成4年度 常任幹事会・グループ長会議報告

内容	第1回 グループ長会議	第1回 常任幹事会	第2回 グループ長会議	第2回 常任幹事会	第3回 常任幹事会
日時	平成4年5月9日(土)	平成4年7月10日(金)	平成4年9月27日(日)	平成4年11月22日(土)	平成5年3月13日(土)
場所	広島市 「広島ターミナルホテル」	東京 「明治記念館」	水戸市 「水戸京成ホテル」	仙台 作並温泉「岩松」	金沢 片山津温泉「あたかや」
議事	1.岐阜セミナー報告 2.茨城大会について 3.東京セミナーについて 4.会員名簿について 5.グループディスカッションのテーマについて 6.その他	1.会員名簿の状況 2.茨城大会について 3.東京セミナーについて 4.次期役員推薦について 5.その他	1.広島総会報告 2.東京セミナーについて 3.大分総会について 4.青森大会について 5.会員名簿について 6.次期会長推薦について 7.その他	1.茨城大会の報告 2.東京セミナーについて 3.大分総会について 4.青森大会について 5.会員名簿について 6.次期常任幹事推薦について 7.広報活動について 8.各イベントのあり方について 9.その他	1.東京セミナーの報告 2.大分総会について 3.青森大会について 4.次期常任幹事について 5.その他

平成4年度決算報告書

(平成4年4月1日～平成5年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	金額	摘要
前期繰越金	770,131	
会費収入	3,553,200	44グループ 1,314名(1,279名)
受取利息	5,892	
合計	4,329,223	

支出の部

科目	金額	予算額	摘要
總會補助金	400,000	400,000	広島總會(4.5.9)
大会補助金	400,000	400,000	茨城大会(4.9.26)
セミナー補助金	300,000	300,000	東京セミナー(5.2.13)
機関紙「緑友」	863,600	927,000	79号・80号・81号
入会予約申込及び インフォメーション 増刷費	196,000	400,000	
ビデオ補助金	300,000	300,000	広島總會・東京セミナー
会議費補助金	300,000	300,000	
会計事務費	100,000	100,000	
総務事務費	100,000	100,000	
書記事務費	100,000	100,000	
印刷通信費	120,000	120,000	
会長活動費補助	200,000	200,000	
予備費及び繰越金	949,623	586,331	
合計	4,329,223	4,233,331	

平成5年度事業計画

緑友会は——ふれ合い、感性、情感満ちた場から自ら求めて、会得し、企業、社会のエネルギーを培うことの共感仲間集団であり、自己実現の喜びに向かって自己革新、研鑽を積み場でもあります。
全国印刷緑友会は、全国44グループの連係機関であり、自らのグループの活性化なくしては全国緑友の存在はあり得ません。己れのグループの創作期の原点に立ち、会員一人ひとりの参加意識を高めグループの活性化こそ緑友の原点と確信します。

平成5年度の目標 グループの活性化

常任幹事会に組織活性化委員会を設置し、各グループの活性化への支援・協力に努める。

- | | |
|---|---|
| <p>1. 第36回定期総会
主管：大分印刷若梅会
日時：平成5年5月15日(土)・16日(日)
場所：大分東洋ホテル</p> <p>2. 第36回全国大会
主管：青森県印刷青年経営者会議
日時：平成5年8月6日(金)・7日(土)
場所：青森グランドホテル</p> <p>3. 第27回セミナー
主管：常任幹事会、福岡印刷若葉会
日時：平成6年2月19日(土)
場所：未定</p> <p>4. 機関紙「FRIENDS OF GREEN」発行
編集：ぎふ印刷翠陽クラブ
82号：平成5年7月発行
83号：平成5年11月発行
84号：平成6年3月発行</p> | <p>5. 常任幹事会
第1回 平成5年7月3日(土) 新潟(予定)
第2回 平成5年11月13日(土) 九州地区(予定)
第3回 平成5年3月12日(土) 京阪地区(予定)</p> <p>6. グループ長会議
第1回 平成5年5月16日(土) 大分東洋ホテル
第2回 平成5年8月7日(土) 青森グランドホテル
第3回 平成5年9月24日(金) 又は25日(土)</p> <p>7. その他会の目的に必要な事項
幕張又は東京(IGAS)に併せて
※常任幹事会と合同開催も有り</p> |
|---|---|

会則変更(案)

○ 現会則

第9章 附則
第28条 本会則は、平成3年5月25日より実施する。

○ 改正案

第9章 附則
第28条 緑友基金の運用については、總會の承認を得て行うものとする。
第29条 本会則は、平成5年5月15日より実施する。

緑友基金明細

(平成5年3月31日現在)

(単位:円)

科目	摘要	金額
定期預金	大和銀行 お茶の水支店	5,356,748
受取利息	大和銀行 お茶の水支店	107,953
東京セミナー補助返戻金	3月19日	300,000
現 残 高		5,764,701

平成5年度予算

(平成5年4月1日～平成6年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	金額	摘要
前期繰越金	949,623	
会費収入	3,553,200	44グループ 1,314名
合計	4,502,823	

支出の部

科目	金額	摘要
總會補助金	400,000	大分總會(5.5.15)
大会補助金	400,000	青森大会(5.8.6)
セミナー補助金	300,000	福岡セミナー(6.2.19)
機関紙「緑友」	927,000	「フレンドオブグリーン」82号・83号・84号
入会予約申込及び インフォメーション 増刷費	400,000	
ビデオ補助金	300,000	大分總會・福岡セミナー
会議費補助金	200,000	
会計事務費	100,000	
総務事務費	100,000	
書記事務費	100,000	
渉外事務費	50,000	
OB・名簿事務費	50,000	
印刷通信費	120,000	
会長活動補助	200,000	
予備費及び繰越金	855,823	
合計	4,502,823	

テーマ「グループの活性化」

【議題】

1. グループの定年について
2. 各グループのOB会の存在、またはOBとの関係について

熱のこもった話し合い(トーキングタイム)

3. 各グループの年間事業について
4. 今、グループが直面している問題
5. 全国緑友の全グループ、全メンバーが全員参加とし事業を考えたら……。

以上の項目について、ディスカッションしました。



酒と女と余興……そして笑いあり
楽しい一夜を思い出に残して

第36回 全国印刷緑友会 大分総会を終えて



実行委員長
野中孝志

第36回全国印刷緑友会大分総会では皆様には大変ご迷惑をかけたのではと考え皆様にはお詫びするとともにお礼申し上げます。

今回全国総会を引き受けるに当り、若梅会も今後の会のあり方等を全員で考え、規約の改正と新入会員の増強、そして総会に対しては、総合マニュアル作成、全国緑友会の動員等を全員で取組んでまいりました。最初は、まだまだ時間があると思っていましたけれどあと1ヶ月となって全体の通しを行ってみると数多くのもれがある事に気づき本当に最後の1ヶ月でなんとか形になりました。けれど今回の総会を受けて良かった事は、新入会員が増え、それと若梅会の活動が大分県下の印刷業界でもアピールすることが出来た事だと思います。

今後も若梅会会員の勉強と並行して大分の印刷業界の発展にも微力ながら頑張っていきたいと全員で今後の方針を考えていこうと思っています。

第1回 グループ長会議報告

平成5年5月16日 大分東洋ホテル
参加人員35名 (35グループ)

【議題】

1. 新会長挨拶
2. 常任幹事紹介
3. グループ長紹介
4. 委員会設置について
総務委員会、広報委員会、名簿・OB委員会、組織活性委員会を設置し、各委員長より説明有り(内容について別資料参照)
5. 今年度事業について
青森大会
運営に対する要望
登録は5月末日メ切
同伴者が多い為費用がかなりオーバーする
オーバー分について、緑友本会計又は基金より補助が考えられる。
福岡セミナー
平成6年2月19日(土)開催予定

登録費用はなるべく安く、中身を充実し、会場・パーティ費用は軽減
仙台総会

平成6年5月28日(土)

会場は、ホテル仙台プラザの予定

6. その他

名簿について

購入費用2,000円×会員数+α(予定新入会員+OB分)

外部の協力会社には1冊1万円にて各グループに声を掛けてもらい、165冊は販売したい。

名簿の申込締切日は5月20日

九州山口の会

平成5年8月21日・22日開催

東青連 平成5年10月23日

会長より

会費振込について、活動予算が不足しているため各グループは7月末日までに振り込んでほしい。

逸見氏・西川氏

OBの方々が大会に参加して頂けるようにOBの名簿や資料を作り、大会でOBコーナーを設営する準備をしたい。

常任幹事として永い間ご苦労様でした

城戸 憲次 茨城印刷緑友会
岡田 浩治 愛媛印刷人青年会
高木 敏和 長野青年印刷人緑友会
川上 彰久 神奈川正和会
芝崎 孝 千代田印刷人新世会

藤井 健 広島青年印刷研究会
千葉 了正 仙台刷新会

以上7名の皆様が、常任幹事を辞められました。そこで7名を代表して、白井前会長、藤井、川上両君に思い出などを語っていただきました。

変らぬ緑友の仲間へ感謝

緑友会直前会長 白井 秀幸

平成3年5月、札幌総会で緑友会会長の大任を仰せ付かり、己れの浅学非才も省みず、ともかくがんばってみようという気持だけを頼りにお引き受けし、2年間何とか終わることができました。これも偏に、城戸前会長をはじめ、常任幹事のあたたかいご支援があればこそと心から感謝申し上げます。

この2年間は不況がどんどん進み、私の任期中には底をうつこともできず、本年いっぱい回復が困難な状況となっております。印刷業界も高度成長、バブルの「付け」を精算し、企業のリストラを押し進めていかねばならず、ほとんどの業種が不況というかってない環境の中、全国印刷緑友会の在り方、役割にも変化が必要となってきました。

グループの中には、リーダー役がいなくなったところや、総会にすら出席していただけないところ等が増加、休眠状態のグループもいくつか発生、グループの活性化が急務となってきました。今までもグループの活性化の方法として常任幹事会をその地で開催、会員の方々と交流を図り、できればイベントを引き受けて頂くことをお願いし、活性化の一助とさせて頂いて参りました。これからはこの不況を考えると、もっと協力的なバックアップ、強いネットワークが必要となってくると思われれます。

幸い利根川会長は、「グループの活性化」を本年のテーマとして掲げておられご期待を申し

上げる次第であります。

会員名簿の作成においても同じ現象が発生しました。活性化されていないグループからの出稿が進まず予定よりも約1年遅れて完成を見たわけです。それでも結局、完全な原稿を頂けず、多少歯抜けの部分が生じ、残念な結果となってしまいました。何としてでも全グループが揃った名簿を作ろうと、西川常任幹事に根気良くプッシュをお願いしましたが、良い結果は得られず今でも心残りとなっております。

しかし、今までと一味異なった会員情報をお届けでき、ネットワークの一助になれば幸いと思っております。

最後になりましたが、この2年間、下手な挨拶や、非常識な運営にもかかわらず、変らぬ友情、ご支援を下さいました常任幹事、グループ長をはじめ、会員各位の皆様へ厚く御礼を申しあげ退任のご挨拶とさせていただきます。

9年間ありがとうございました

広島青年印刷研究会 藤井 健

先日の大分総会に於て常任幹事を無事任期終了させて頂くことが出来ました。永い間大変お世話になり大変有難うございました。

思い起せばグループ指名幹事の時代、前任者花田より交替し、約9年間にわたり様々な素晴らしい方々と友人になれました。思い出せば楽しいことばかり、切りがありません。一つずつ書くことも出来ませんが、私にとって最も楽しく有意義な時間を過ごしました。歴代会長、常

任幹事の皆様に深く感謝しております。

地元の広島青年印刷研究会も、今年で定年となりますので、後はのんびりと余生を過ごしたいと考えています。今後共宜しくお願い致します。

寂しがり屋のひとり言

神奈川正和会 川上 彰久

緑友の皆さん、お元気ですか？ 神奈川正和会の川上です。この度常任幹事の役を退任いたしました。永い間ありがとうございました。

私と緑友の最初の出合いは、正和会の故大川先輩のご紹介で小堀製版印刷（現小堀グラフィックス）さんに勤めていた時からです。よく先輩が「社長は今日は若葉会の会合だ」という話を小耳にはさんでいたのを思い出します。そして初めての大会参加が昭和56年の新潟大会。台風の中を大揺れの飛行機で行きました。次の年の札幌大会、夜の割引券チケットの束。あれで真面目な川上くんが目ざめてしまいました。また、竹田会長を団長にした台湾訪問。会長時代の竹田さんは台湾でも毅然としていました。利根川さんも2年間は、ガマンして下さい。昭和58年の下関総会。初めて正和会の役員として参加し、緊張してエレベーターを待っていると、ドアが開いて降りてこられたのが当時の中村会長。会長は初対面の私に握手を求めて、「よく来てくれました」と言いながら、握りしめてくれました。その手の大きくてごっついこと、今でも鮮明に覚えています。

そして、古賀会長の時に常任幹事にさせていただいてから、引っ込み思案の川上くんを声を掛け続けて下さった、利根川会長、逸見さん、北は札幌の竹内さんから、日本のヘソ下三寸・岡田さん、南は沖縄の糸洲さんまで、本当に素敵な人達ばかりです。正和会の長老・大西顧問にも大変お世話になりました。

緑友のメンバーになられまして間もない方、まだ全国の行事に出席していない方、どんどん出ていきましょう。そして声を掛けて、3人4人と友人を増やして行きましょう。とても楽し

くなりますよ。

全国の緑友の皆さん、寂しがり屋の川上くん
に愛のメッセージを送って下さい。

どこかでお会いしたら、暖かい声を掛けて下さい。緑友会・バンザイ!!

常任幹事を代表して

「盗人の告白」

佐賀県印刷人若楠会 松浦 正欣

「常任になられて大変ですね」とよく同じ若楠会のメンバーから同情されるんです。「え、まあ出来るだけ時間を作って頑張りますよ」と答えるのですが、本音を言うと日本中あちこちに行けて、ワクワクしているんです。旅行も好きなんですけど、何より楽しい事は、多くの人に会える事ですね。しかも、同じ印刷の仕事をやっている人と……。これは私にとっては本当にスゴイ事なんです。ちょっとオーバーかも知れませんが、私の人生を変えたと思っているんです。人口3万5千人の小さな町で小さな印刷屋をやりながら「つまらないなァ」といつも思ってたんです。それが、緑友の会合に出席するようになって「印刷屋ってやりようによっては、面白い商売なんだなァ」なんて、ボンヤリ考えるようになったんです。それからなんです。多くのメンバーの所へ行っては、無料でノウハウを盗んで来ては、さも自分が考えた様な顔をしてお客さんに売付ける、そうこうしている間にコンピュータや経営談話など色んな商品がくっついて来て、紙にインクを乗せるという本来の仕事の他の仕事が増えて来て、多少混乱気味ですが、楽しくてしょうがないのが今の私です。これも緑友の皆さんのおかげ、感謝感謝でいっぱいです。

こんな思いを佐賀のメンバーだけでなく、全国のメンバーにも体験していただく手助けをするのが常任としての私の役割だと思っているところです。

さて、くだらん事を長々と書きましたので、こころで終わりますが、これから私に近づく時は、くれぐれもご用心下さい。

第36回 全国印刷緑友会 大分総会に参加して

20時間の列車の旅と大分総会

能登半島印刷人クラブ
佐味貫義

大分若梅会のみなさん、立派で楽しい総会をホストくださり、厚くお礼申し上げます。

当初、参加予定のなかった私にとっては、大分流のもてなしと、ご当地らしさの満喫を始め、いろんな意味での天与の体験でした。

「大分」随分遠いナ・・・ためらわず？実行委員会への返信は「欠席」。2～3日して推薦人の白井前会長から「総会は全グループ出席の義務があるんだゾ」と一喝され、田舎者の身勝手を恥じた次第です。

エネルギーが漲る総会は、さすがに意識の高い「緑友」を感じさせ、伝統的な縦社会、日本の風土が揺らぎつつある中、「緑友」が35年前から営々と形成し続けた、ネットワークづくりの価値が、今、大きく評価される時期に入っていることを感じました。

「集い、語り、行動し、そして検証する」好むと好まざるに関わらず、このサイクルが自ずと参加者の意識の中に定着し、これに共鳴するメンバーの波紋が更に明確、具体的に表れつつある事がうかがえます。

業界広しといえども、これだけの全国組織で情報交換が行え、しかも、かなり本音で自分の意見や、考え方の確認をしあえる組織は他に類をみないのではないのでしょうか。

その場に足を運び、生の声を聞き、自分の考えを披瀝し、相手の考えをそしゃくする。

「緑友」に所属しているだけでは余り得る所は無いでしょうが、公正な競争を通じて、社会に寄与する事を経営の基本に置き、相互の研鑽を積み重ねれば必ず、結実の時来ると信念することこそ大切だと常々思っている所です。（あ

まり欲を出さず。）

印刷及び、関連産業に身をおく我々一人一人が緑友を通じ、日本全国に何かを発信できる要素を持ちつつあるエネルギー集団である事を感じた、第36回大分総会でした。

ロサンゼルス往復に匹敵する久し振りの長距離旅行、本当に「参加して良かったワ(和)」。

緑友会は私の心と頭の活力剤

茨城印刷緑友会
渋谷義和

全国緑友の皆さん、「こんにちは」。私は、茨城印刷緑友会の渋谷です。大分総会の感想をというご依頼を突然受け、どうぞ返事して良いか考えているうちに私の前にはこの原稿用紙…。

帰り道もあれこれ考え、正直いつものようなほろ酔いかげんのベストフライトとはまいりませんでした。ですが、なにより、この紙面をお借りして、昨年9月に開催されました第35回全国印刷緑友会茨城大会のお礼を申し上げなくてはと思い、重いペンを執った次第です。

本当に茨城大会には、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。大会当日はいろいろと、不手際もございましたが、皆様の大きな懐がミスをカバーしてくださいました。私自信まだ、そのあたたかい余音を日々感じております。

緑友の皆様の厚い友情に接することができました茨城大会もつい昨日のことのようですが、今、大分総会、グループ長会議と、審議内容も建設的意見が多く、今までにないものを肌で感じた総会でした。

そして、トークンタイムでは、時間内では話しきれない程、内容の濃い、充実したお話を同じテーブルに付いた方々から、伺うことがで

き、その有意義な時間の後には、日ごろ、我々が接することが出来ない吉四六劇団のたいへんおもしろい大分弁の劇。

内容ある多くの審議事項や、活発な意見、それに人々の明るい表情、どれをとっても、これまで総会の準備をしてこられた大分印刷若梅会の皆様のご苦勞がしのばれるすばらしい総会運営でした。

これからも、参加させていただくことが、私の心と頭の活力剤になることは、まちがいありません。今後も、どうぞよろしく願います。最後に、ぎふ印刷翠陽クラブの皆様、会報の発行ご苦勞様です。頑張ってください。

友情深める緑友に

北九州Y Pクラブ会長

山本賢治

第36回の大分定期総会は、大分東洋ホテルを会場として開催されました。

大分は、「一村一品運動」の大分として有名です。そして緑と温泉の多い土地でもございます。さて、2年間にわたりご苦勞をされました白井会長は、本総会で退任され、利根川新会長へとバトンタッチされました。

「新たな時代の流れをつかむ」幕開けでございます。

いま、バブルの崩壊後の不況は、我々二世の印刷人が、かつて経験した事がないような状況をもたらし、なお継続中でございます。

このような状況の中での総会ではございますが、会員みな元気よく、お互の友情を深め、楽しくまた、まじめに、総会の議事を進行し、利根川新会長を選出し、次期総会を仙台と決定して、無事閉会いたしました。

5時よりは、「トーキングタイム」という事で円形のテーブルに10人単位ですわり、「グループの活性化について」というテーマでトーキングをいたしました。残念ながら時間があまりなく、多少思いを残したようです。

私は、個人の意見として緑友の会員が、緑友を認識できるのは、会員と会員が接触する回数

に比例すると考えています。大会、総会、セミナーへの出席や、その中で行なわれるトーキング、ディスカッション、バズセッション等により、胸襟を開いてお互の思いを語る事が、友情を深め緑友会を認識し、あらたなる価値を得るものと思います。

この大分総会は、大分印刷若梅会の会員皆様の努力によりまして、すばらしい総会となりました。心より感謝を申し上げ、また8月の「ねぶた青森大会」で、皆様とお会いしてともに語りあい、楽しみ、有意義な時をすごしたいと思えます。

ふれあいこそ、明日への活力

仙台刷親会

萩生恵治郎

緑の季節、これが全国印刷緑友会総会の季節だと、飛行機の窓越しに大分空港が見え始めた時思いました。

そして私にとっては、初めての参加となる総会が始まりました。最初は、次年度総会のホストということもあり、若干緊張しながらの参加でしたが、議事が進むにつれて雰囲気にも馴染み、総会閉会後のトーキングタイムでは、自分自信何かお土産を持って帰ろうと、諸先輩方のご好意に甘え甚だ生意気でしたが、積極的に発言をさせて頂きました。同時に沢山の貴重なお話を聞かせて頂きました事感謝しております。

更に、懇親会の終盤に、次期総会開催地と言うことで緑友会旗を伝達されました時には、改めて身の引き締まる思いがしました。

懇親会終了後、夜の大分見物に出た私たちを行く先々で同席させていただいた緑友会メンバーとのふれあいと情報交換は、私にとって明日へのおおきな刺激となりました。

最後になりましたが、次年度総会のホストという目でこの大会に臨み、大分若梅会の方々に舞台裏の質問を浴びせた無礼、おわびいたします。若梅会の努力の積み重ねが立派な総会、心あたたまる懇親会、そして夜の大分、翌日の見送り迄、大成功の総会でした。実行委員の皆様

に大変感謝すると共に、来年の仙台総会への皆様のお越しをお待ち申し上げます。

追伸 懇親会場で味わった関サバ、関アジの味は、忘れられません。再び大分に行く機会を狙っております。

楽しきかな緑友会

名古屋而立会
岡田 吉生

「名古屋而立会、8名」
はっきり言って不安であった。

横浜セミナーの時なんかは、

「名古屋而立会、30名！」

と紹介されたが、会場にいるのは2、3名。

中華街で昼食（酒盛り？）の真っ最中だったらしい。

いくら私が無責任な常任幹事とは言え、少しは気になる。前列の幹事席より振り返り、おじぎをし、恐る恐る顔を上げたら、「いた、いた」。ホットしたが7名。ヒゲの哲ちゃんだけは姿が見えなかった。やはり。



いつも「名古屋而立会、……名」の声に立ち上がると、その参加者の多さに（動員力があるとも言えるが、勘違い参加も多い？）会場からどよめきが起こり、そのたびに僅かだが誇らしげな気持となることもしばしばだったが、今回はぎふ印刷翠陽クラブさんが而立会を上回った。森新会長のもと大ハリキリだ。

利根川緑友新会長のスタートに（というより白井前会長の任期ぎり直前に）全国印刷緑友会

会員名簿も、而立会担当で滑り込み間に合い、スッキリした気持ちで迎えた懇親会。

今回の最大の（？）収穫、この懇親会で私は有名人3人とカメラにおさまる幸運を得た。その3人とは、若ノ花、ラッキー池田、所ジョージの今超売れっ子の3人だ。

楽しい大分総会だった。

充実したトーキングタイムを

神戸印刷若人会
浜田 好雄

大分総会に参加した感想ですが、私自身今まで総会にまだ2回しか参加していませんので、あまり良く分かりませんが、議事進行などは特に問題など無かったと思いますが、その後のトーキングタイムが少々、中途半端な気がします。その理由に、まず時間が大変短かったと思います。せめて2時間ぐらひは必要だと思います。私達のテーブルでは、結局結論がまったく出ませんでした。又、テーブルリーダーは、当日参加メンバーにお願いするのではなく、事前にタイムテーブルの分かっている大分若梅会の方が良かったと思います。

私は、総会の時にテーブルを囲んでのトーキングタイムは不用だと思います。もしそのような企画をするのなら、大会や、セミナーの時にすれば良いと思います。総会は総会として割り切って考えて、緑友メンバーの交流の場を作るのであれば、懇親会の会場で時間をできるだけ多くとり、より多くのメンバーと結論を出さなくて良いフリートーキング、食事会をすれば良いと思います。





大分総会
スナップ写真集



利根川会長 全国印刷緑友会 グループ訪問記



名古屋而立会編

5月18日(火)

5月18日(火)、而立会の例会が全国印刷緑友会利根川会長、安藤常任幹事を招き名古屋栄のガスビルで開催された。又当日は、ぎふ印刷翠陽クラブの森会長を始め15名のメンバーが例会訪問としてオブザーバー参加した。

例会は「而立会を考える」と題し、利根川会長、安藤常任幹事、而立会より吉川君、佐藤君の4名をパネラーに、而立会木野副会長の進行でパネルディスカッションが行なわれた。

最後に、利根川会長の「緑友会を難しく考える必要はない。楽しいから参加しようと思う気持が大切である。せっかくの人生楽しくやろう、色々な人と出会う事によって自分をいかに表現してゆくか、感性は個々様々である。それぞれが自分の目標をつくって、もっと素直に自分の感性を生かして下さい。そしてもっともっと緑友会を利用して下さい」との言葉で例会を終了した。

緑友会広報担当記



新潟県印刷新世会編

5月26日(水)

去る5月26日、新潟県印刷新世会の定期総会に利根川会長と常任幹事、小森、小倉、前常任逸見氏の4名が参加して来ました。今回は、7月に予定されている全国常任幹事会を新潟の地で開催したいという利根川会長の意向の基、お願いと打ち合せ、そしてお礼方々の訪問となっ

た訳です。

総会は高橋研一会長や役員さん方の人柄を反映してスムーズに議事が進行し、活動報告などからも日頃の新世会の活発さが伺えました。又、特筆すべき事は他の全国の会にはあまり見られない支部単位の活動があり、新潟支部、新発田支部、中越支部、そして県央支部と、その活動が広範囲に渡っている点で、これは全国の

他の会の見習うべきところという感を持ちました。

懇親会の席で利根川会長からご挨拶と今回の常任幹事会開催のお願いがなされ、協力の約束を頂き、新世会の皆さんと和気あいの時間を過ごし帰って参りました。新世会の皆さん、常任幹事会 よろしくお祈りします。

ブロック担当幹事 小倉 記

青森県印刷青年経営者会議 6月19日(土)

全国印刷緑友会 青森大会に向けて ——— 今、青森は熱い ———

みちのく津軽の短い夏を彩る世界の火祭り青森ねぶた祭りが真近に迫って来た。夕方ともなるとむつ湾からの潮風に乗って笛や太鼓の囃子

の練習の音が聞こえてきて身体の眠っていた(?)血がじゃわめぎ(津軽弁で騒ぐの意)ねぶた近しを感じさせてくれる。

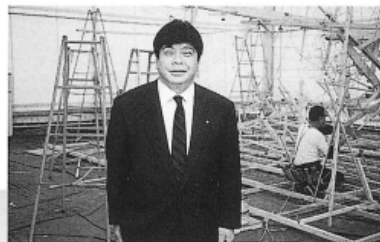
祭り期間中で最も盛り上がる8月6日第36回全国印刷緑友会の全国大会が当地あおもりで開催される。全国各地から35グループ約420名もの緑友の仲間が集い熱き交流を深める舞台は今着々とできあがりつつある。

先日6月19日の実行委員会には利根川会長と榎本常任幹事が来青され、準備状況を詳細に渡って確認され、多くのアドバイスをいただいた。

今大会の主役はなんといっても「ねぶた」皆様にあの強烈なエネルギーを感じ取っていただき明日への歓喜と英気を養っていただきたいと我々印青経のメンバー30名は「ラッセラー」の掛声のもと熱き思いで準備を進めております。

皆様のおいでを心よりお待ち申しております。

青森大会イベント担当 長尾 記



(ねぶた作製中を見学)



編集後記

利根川会長丸出航———

旅先案内人として、船乗員の皆さんの情報を多く集め、わきあいあいと、2年間の船旅をしたいと思います。

さて、最初からチョンボ、テープレコーダーの取扱いが不慣れなため、総会・懇親会の内容、そしてインタビューが、消えてしまいま

した。ごめんなさい。

当初の企画とやや変更はありますが、全国の皆様に原稿をお願いしたところ、多くの方より寄稿を頂きました。誌面を借りまして厚くお礼申し上げます。

シリーズとして、利根川会長が掲げる「グループの活性化」として、会長自ら各グループ訪問をされることになりました。当編集部も密着取材を行いますので、ご期待下さい。



全国印刷緑友会

FRIENDS OF GREEN

FRIENDS OF GREEN No.82

〒113 東京都文京区湯島2-4-4

TEL.03(3811)1111(代)

発行人 利根川 政明(文京緑友会)

編集人 ぎふ印刷翠陽クラブ
